花巻南 みなみ風

花巻南高PTA会報
135号
発　行／岩手県立花巻南高等学校PTA
発行日／令和2年3月1日
印　刷／あべ印刷㈱

3年1組

3年2組

特集 子から親へ 親から子へ

3年3組

3年4組

3年5組

一年を振り返って

三年間に感謝

ＰＴＡ会長　福盛田　満広

今年も終わりに近づいて来ました、あっという間の三年間でした。

菅原校長先生をはじめとする教職員の皆様、ＰＴＡ会員の皆様には、日頃よりＰＴＡ活動に対しまして、ご理解と御協力とご理解頂きましたことを心より感謝申し上げます。振り返りますと、三年間、役員をやって来て、色々な人達の触れ合いや、先生方の一生懸命さと、何より花巻南高校の校風に触れ、三年の春に、役不足ではありますが、会長になりました。素晴らしいスタッフに囲まれて、幸せな時間を過ごさせていただき感謝の一言に尽きます。ありがとうございました。

ＰＴＡ連合会全国大会にも、二年連続で参加させて頂き、全国各地の、取り組みを聞き、素晴らしいＰＴＡ活動を、聞くことが出来きました、活動は様々ですが、常に子供達の事を、思い、学校と地域を、繋げていくかを、真剣に考えて活動をしているのを、聞き感動を覚えました、子供達の事を思う気持ちは何処も同じだと改めて感じさせられました。

近年は少子化で、クラス減が騒がれています。子供にも様々な子供がいます。勉強が好きな子、スポーツが好きな子、外国語に興味がある子など、色々な可能性にチャレンジ出来る高校だと私は思います。花巻南高校の特色を活かし、これからも地域に根差した、人気の有る高校でいて欲しいと心から切に願います。

子供達はこれから、社会に出たら、沢山の問題と遭遇すると思います。それを乗り越えるのに必要なのは、解決力と想像力だと、私は考えます。花巻南高校で、過ごした経験が、今後の生きる力となると私は信じています。

最後になりますが、ＰＴＡ会長を務めさせて頂き、あらためて子供と学校、地域の繋がりを教えて頂きました、とても勉強になりました。

本当に三年間、お世話になりました、会員皆様の御協力に感謝を申し上げます。

令和という時代

校長　菅原　一成

今年も、中北万丁目の学び舎から卒業生が旅立つ時期がやってきました。令和という時代に主役として新時代を担う若者たちです。卒業生の保護者の皆様には、この日を迎えた我が子の成長した姿に感激もひとしおのことと存じます。心よりお祝い申し上げるとともに、これまでの本校教育活動に対するご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

令和元年度のＰＴＡ事業では、宮城への研修旅行や環境美化活動と花南祭での「まんまカフェ」、登校時の挨拶運動や学年ＰＴＡ、そして、母親委員会に広報委員会の活動と様々ご協力いただきました。本当に沢山の保護者の皆様に学校においでいただきました。有り難うございました。さて、最近のお子さんたちの家での様子は如何でしょうか。ＳＮＳがますます生活の中に入り込み、ツールとして如何にスマホを使いこなすかが、高校生活、そして人生をも左右するような時代となりました。現在、高校では授業中にスマホをいじってはいけないことになっていますが、何年か後には、それも昔話となるかもしれません。世界が注目した２０１８年学習到達度調査（ＰＩＳＡ）によれば、パソコンやタブレットなどデジタル機器の活用がますます進む中で、日本の子どもたちの活用例の大半がラインなどによるチャットかゲームとなっています。歩いていても、電車の中でも、食事中でさえもスマホを手放さない若者たちを見ていると、将来に不安を感じざるを得ません。知識はスマホで即座に集めることができます。がしかし、それを正しいかどうか選別・判断し、活用する力は、育っているのでしょうか。これからの時代は、知識を活用して課題を見いだし、他者と協働する力、新しい価値を創造する力を身につけてゆく必要があります。

花巻南高校は、創立以来の「中庸」に「明知」と「無限」を加え、平成の時代に現在の校訓を完成させました。人口減少や地域経済及び社会の縮小、伝統的コミュニティの消滅と地球温暖化による異常気象、ますます進むボーダレス、そしてＡＩに代表される技術革新とスマート社会の実現にいたる令和の時代は、予測不可能で変化が激しい時代だからこそ、この校訓に新しい意味を込めて読み解く必要があります。近未来においても元気に躍動する卒業生たちの姿を思い浮かべながら、これからも、保護者の皆様と協力して歴史を紡いでいきたいと思います。

感謝

総務委員長　櫻羽場　哲也

令和元年度も、残りわずかとなり、私のＰＴＡ活動も卒業が近づいてきました。思い返せば、ＰＴＡ活動を通じて沢山の保護者、先生、地域の方々との出会いがあり、さまざまな経験を重ねる事で気づき、学ぶ事がたくさん出来ました事に感謝申し上げます。

総務委員会では、「一声かけ運動」を中心に活動に取り組みました。登校時に校門前にて、総務委員、ＰＴＡ役員、先生、生徒会で行いました。挨拶は社会生活の基本であり、マナーやコミュニケーションにかかわる大切な事だと私は思います。毎年、継続して活動していることで、昨年よりも元気良く挨拶を返してくる生徒が増え、服装の乱れも少なくなってきた感じがしました。この活動は県のＰＴＡ活動の一環でもあり他校でも色々な形で取り組んでいます。

昨年八月には、京都府で開催された全国大会へ参加させていただきました。一万人を超える全国のＰＴＡ会員が集う研修会はとても盛大でした。

高校でＰＴＡ活動に参加した事で、スマホやＳＮＳとの向き合い方、ＡＩの発達により将来どのように変化していくのか、高校再編計画など子ども達をとりまく検討課題がまだまだ多くある事を知り学びました。ＰＴＡは卒業となりますが、今後は、ＰＴＡで学んだことを社会に貢献できればと思います。

最後に、先生方・役員の皆さまからのご指導、総務委員の皆さまのご協力、会員皆さまのご理解に感謝申し上げます。

今年度を振り返って

厚生委員長　及川　功

早いもので、東日本大震災から九年が経過しようとしております。関係事業者等の皆さまのご尽力のおかげで被災地の復旧・復興に向けた取り組みは確実に前進してきていたなか、昨年十月の台風19号により岩手県沿岸部を中心に大規模な豪雨災害が発生しました。亡くなられた方のご冥福と被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

さて副会長を引き受けてあっという間の1年でした。大きな大会等には参加することはできませんでしたが花南祭前の草取りなどの環境整備への参加、また※あいさつ運動に参加することができ、学校の先生方、ＰＴＡ会員の方と交流を深めることができました。

ＰＴＡとは、結局のところ子・親同士・先生方とのコミュニケーションだと考えます。この連携を更に強靭なものにしていきたいと思っております。

最後に、政府は「ニッポン一億総活躍プラン」を着実に実行していくことで労働力人口の減少に歯止めをかける対策を実施しており、そのひとつとして「働き方会改革」により職場環境を見直し労働改善や職場の活性化、ひいては人手不足の解消などの問題解決につなげることとしております。先生方におかれましても生徒一人ひとりの個性を伸ばしながらも将来にむけての進路相談など多種多様に時間がとられることと思いますが是非、花巻南高校の生徒が外社会で活躍できるようにご指導をお願いいたします。

オリンピックイヤーの今年、花巻南の子供たちが文武両道で活躍できますこと、またＰＴＡがワンチームになり益々、花巻南高校が良くなることを祈念しあいさつに代えさせていただきます。一年間ありがとうございました。

1年を振り返って

母親委員長　菊池　千夏

一人っ子の我が家は、何にしても一度きり。立った、歩いた、しゃべったと新しい成長を喜ぶのが一度きりなら、小学校入学、中学校入学、高校入学もまた一度きり。幸いなことに、高校の各学年は一回ずつだったようです。

なし崩し的に引き受けた役員でしたが、三年間楽しく過ごさせていただきました。前述の通り、一度きりの子育てですから、これはもう楽しんだ者勝ちだと思っています。

とろこで、役員をお願いされたのが入学式前夜でした。ちょっと余裕のないこと甚だしでは。役員の任期も仕事の内容も分からぬままでしたので、他のクラスでは役員が決まらなかったというのも、分からぬでもないことだと感じました。決まらないことの要因は、役目の内容が分からないことにあるのではないでしょうか。

入学説明のパンフの中に、役員の種類と詳しい活動内容ならびに会議などの出席回数を具体的に書いた資料を入れたなら、まだいいかも知れません。それでも決まりづらいかも知れませんが、保護者がブラックボックスに手を突っ込む状態の勧誘よりいいかと思います。

任期が三年といっても、ほんとあっという間ですよ、思ったより楽しいことが多いですよ、と体験談が必要ならばいつでも書きます。

最後になりますが、子どもたちが冬期間快適に学習できるよう、服装の緩和などしていただけると親としては健康上の心配が減ります。頭寒足熱も分かりますが、寒くては授業に集中できないでしょう。どうか、ネックウォーマーくらいは使用可にしてください。我が家にはもうお世話になる子どもはおりませんが、よろしくお願いいたします。

この学校へ進学させてよかったと思っています。三年間、ほんとうにお世話になりました。ありがとうございました。

特集　子から親へ　親から子へ

ありがとう

三年一組　千田　拓未

私が花巻南高校へ入学してから三年が経とうとしています。この前入学したばかりだと思っていたのにもう卒業してしまいます。

この三年間たくさんの人達に支えられてきましたが、中でも一番は両親の支えでした。普段通学に使っている釜石線が急に運休になってしまった時などに、通勤時間がギリギリになるのにもかかわらず、車で学校まで送ってくれたり、部活の大会などでも、朝早くから弁当の準備や、車で送迎してくれたりと、たくさん負担をかけたと思います。こうして三年間学校に不便なく通えることができたことや、部活を続けることができたのも、両親の支えがあったからこそだと思います。本当に感謝しています。また、進路についても、私は意志がはっきりしなく三年生の部活を引退した時も進路が決まらない中、母が「失敗しても良いから県立大のＡＯを受けるぞ。」と声を掛けられたときは、びっくりしました。ＡＯ入試まで時間が少なく、私はとても不安でしたが、担任の先生と話しＡＯで受けることを決めました。決めたものはいいものの、どのような内容で受けるか明確に決まっていなかったので、なかなか睡眠をとることができない中、母は夜遅くまで私に付き合ってくれて、本当に感謝しかありません。結果は第一次選考は通過したものの、第二次選考では惜しくも合格をつかむことができませんでした。本当に申し訳なかったです。しかし、第二希望だった大学の自己推薦では、ＡＯ入試で作成した書類が役に立ち、無事合格することができました。本当に良かったです。

最後に、四月から県外の大学に進学するわけですが、無事進学することができたのは、母を始めとした様々な方の支えがあったからこそだと思います。本当にありがとうございました。大学でも頑張ります。

エールを拓未へ

千田　由美子

拓未、卒業おめでとう。

この十八年間を振り返ると、随分いろんな山を登ったものだ。拓未にとって、「高校」という山は、登ってどうだったのだろうか。辛いこともあったかもしれないけど、母から見ると充実していて、楽しそうに見えていた。今、拓未が見せてくれている「高校」という山頂からの景色は最高の眺めであることは言うまでもない。

陸上、よく最後まで頑張ったな。初めて大会の観に行ったとき、会場の応援の凄さに感動し、「ここで走れるあなたは凄い!!」と思った。それから、大会に観に行くと宣言すると拒絶されるので、こっそり観に行っては、ついつい声を張り上げて応援してしまっていたが、毎回、楽しみでもあった。

楽しみといえば、拓未の趣味は超越し生きがいとなっている『神楽』。今年は集大成ともいえる大舞台ばかりだった。遠野祭り、県民会館、みらい創りカレッジ。こんなに貴重な経験をさせてもらって、関係者の皆さんには感謝の言葉しかない。また、入試の時も、勉強もロクにやらない拓未のために、神楽の仲間、知人が夜遅くまで手伝って応援してくれた。先生たちも遅くまで残って指導してくださって、今でも、申し訳なさと感謝の気持ちでいっぱいである。

三年間あっという間だった。拓未、皆に愛されて幸せだったな。ありがたいな。

これまでの山登りは、登るルートを一緒に考えて登れたけど、これから登る山々は、拓未自身で道を選び、時には自分で道をつくって登らなければならないだろう。

「未来を切り拓く」という意味をこめて「拓未」と名前をつけた。孤独や虚しさ等、辛さと向き合わなければならないこともあると思うけど、それは人間とし

て生まれてきた試練である。だから忘れないでほしい。今まで支えてくれた皆さんの温かい心と笑顔を。それがきっと、これからの山登りでの支えになる。

またいつか、登った山の景色を見せてくれることを願い、エールを送る。がんばれ。

感謝を込めて

三年二組　長谷川　優香

このまえ花巻南高校に入学したばかりだと思っていたのに気づいたらもう卒業です。私が花南で過ごした三年間は本当に充実していました。それは、どんなときでも側で支えてくれた家族、毎日笑い合った友達、身近になって指導してくれた先生方やコーチがいたからだと思います。

私は部活動を通して両親の支えを多く実感しました。ソフトボールを始めたのもきっと野球好きな父と兄の影響だと思います。そのおかげで今の私があるといっても過言ではありません。また、母は、私が試合や練習で朝が早いときも送り迎えをしてくれました。家族のみんなありがとう。

私は周りのみんなより進路を決めるのが遅かったです。先生だけでなく家族、友人、監督など多くの人に相談し県内の看護学校への進学を決めました。しかし、私は文系のクラスだったので理系の力は他の入学者よりも劣っていると思うのでそこは自分自身で努力して十分な力をつけて入学したいです。進路選択へ力を貸してくれたすべての人へ感謝しています。

三年間、本当に素晴らしい高校生活を送ってきたと思います。この文章では表しきれない数々の思い出があります。楽しいことだけでなく、辛いことや悲しいこともありましたがそれも全部含めて私の青春です。花南に入学してよかったと心から思います。県外に進学するわけではないので家族との生活はまだまだ続きますが、すべて、家族に頼りきりの生活ではなく洗濯や掃除など自分でやっていこうと思います。

最後に、私に関わってくれたすべての人に感謝します。これからも家族の支えと共に成長していきます。また一から夢に向かって走り続けたいと思うので側で見守っていてください。

頑張り屋の貴女へ

長谷川　克範

優香さん、卒業おめでとう！高校の三年間はあっという間だったと思うけど充実した高校生活だったのではなかったでしょうか。特にクラブ活動では弱音も吐かず歯を喰いしばって頑張っていたね。二年時にはプレッシャーの掛かるキャプテンとしてチームを引っ張っていた姿には私自身も感銘を受けましたよ。リーダーとして時には監督さんやコーチさんから叱咤激励され涙を流した時もあった事でしょう。でもその分チームメイトとの絆も深まり目標に向かって頑張れたのではなかったでしょうか。楽しい高校生活、多くの友達との交流を通して沢山の心の財産も積めたと思います。まだ子供だと思っていた貴女も十八歳。これからは子供扱いはしません。桜香る四月からは三年間の看護学生としての修行が始まります。中学、高校とは違った社会という世界に足を踏み入れるのです。今まで経験した事の無い場面に何度と無く遭遇していく事でしょう。その場面から逃げ出したくなる気持ちが大きくなる事もあるでしょう。でもね、絶対に逃げ出しちゃいけないよ。不屈の〝負けじ魂〟で乗り越えていくんだよ。時には弱い心に負けてしまう事もあるでしょう。そんな時は家族が貴女の味方だよ。何でも言いあえる家族が側に居るじゃないか。そういう時は心を開いていいんだよ。最後に私から貴女に伝えたい言葉があります。〝苦労は買ってでもしなさい〟と。苦労した分〝成長という財産〟が付いてきます。苦労した人は最後は絶対に幸せになれるんだから。輝ける〝白衣の天使〟に向かって頑張れ優香!!

身近な存在

三年三組　藤原　千風優

花南に入学してミニバスから一緒にバスケをしてきたメンバーと離れバスケ部に入ると決めてから本当に多くの壁にぶつかりました。その度に私は、友達と両親に支えられてきました。三年間、部活をしてきた中で一つだけ後悔があります。それは最後の大会も万全な状態でプレーする姿を見せれなかったこと、母の目の前で号泣し母を泣かせてしまったことです。あの時の涙は悔しい思いから出たものです。ずっと応援してくれた人の前で悔いなく終わりたかった気持ちは消えることはないと思います。でも、私はあの一日でやり切ったの少し心は軽いです。

私の身近にいた「母」が今は私の「目標」です。助産師になり多くの人を笑顔にしたい。これが私の夢です。小さい頃からの夢を叶えるために進学します。一人暮らしをする決断をしました。買い物も一緒。友達のような存在の母から笑顔が消えないか、弟が無口にならないか、家が静かにならないか。心配なことがたくさんあります。

まだまだ、これから先たくさん頼ると思います。母の前でたくさん泣くと思い

ます。一人で仙台に行くのは不安だけど私には夢があるから頑張れます。私が助産師として自立するまで温かく見守って下さい。これからもたくさん心配と迷惑をかけますが、娘からの愛だと思って受け止めてくれたら嬉しいです。

十八年間、誰よりも近くで支えてくれてありがとう。私の夢を応援してくれてありがとう。「千風優」の名前の由来のように育ててくれてありがとう。

夢に向かって

藤原　裕美

高校卒業と大学進学おめでとう。これで、夢に一歩前進することが出来ましたね。

助産師になりたいという夢は幼稚園の頃から話していましたがその夢を、ブレずにずっと持ち続けている事は凄いことだと思います。「母を超えるために助産師になる。」と聞いた時は正直驚きましたが、同じ医療系の職業を選んでくれたことを嬉しく思います。以前「ママは人の最期に関わる仕事だけど、私は人生最初に誕生に携わりたい。」と話していましたね。助産師であっても死に向き合わなければならない場合もある事を説明しましたが、どうしても助産師になりたいと話し、夢に対する強い気持ちと決意を感じました。

今までも順調だったわけではなく挫折もありましたね。これからも迷う事や大変な事もあると思います。それでも必ず自分自身で悩み考えとことんぶつかっていって下さい。苦しい時や悔しい事もいつか時間が経って振り返った時許せたり、笑って話せる良い思い出に変わる事もあります。今の自分があるのはまわりで支えてくれる人達がいるからであるということを忘れずに、感謝の気持ちを持ち続けて欲しいです。

夢の実現までには、大学・就職とまだまだ長い道のりですが、自分で選び決めた『道』です。自信を持って突き進んで下さい。ずっとずっとあなたの味方です。応援しています。

千風優という名前にはまわりの多くの人達にたくさんの優しい風を与えてほしいという願いが込められています。あなたのおかげでいつも笑顔であふれていました。あなたの笑顔で疲れた時も元気頑張る事が出来ました。あと数日で旅立ってしまう事を考えると淋しくて涙が出て来ますが、更なる進化を期待しています。

――がんばれ　千風優!!――

家族に感謝

三年四組　中田　祥理

私が花巻南高校に入学してから三年が経とうとしています。この三年間は本当に濃い時間でした。たくさんの人達に支えられてきましたが、その中でも一番は両親の支えでした。私が花巻南高校に入学したきっかけは二つあります。一つ目は二つ歳上の兄と同じ学校で剣道をやりたかったからです。小学生の時から一緒に剣道をやってきて、中学生の時は辛口なアドバイスばかりで嫌だったけれど、私が一年生の時に出場した高総体の後に「強くなったな」と涙目で言われた時は嬉しかったです。兄貴ありがとう。

二つ目は、スキーが好きな私の事を考えて母がスキー実習の存在を教えてくれたからです。母は毎日おいしい弁当を作ってくれたり、遠征で朝早くても、夜遅くても送り迎えをしてくれました。応援の時にビデオで私の試合を撮ってくれてありがとう。でも、カメラワークが上手とは言えないので弟の試合を撮る時は、もっと綺麗に撮ってあげてください。母の支えはとても大きかったです。ありがとう。

父は出張が多い中、応援に来てくれたり、竹刀など道具も買ってくれました。父は剣道の経験者というものもあって、私の試合を見てアドバイスをしてくれたり、パソコンから携帯に動画を送ってくれて私がいつでも剣道の事を考えられるように支えてくれました。ありがとう。

私は春から社会人となります。十八年間多くの人と出会い、沢山のことを教えてもらい支えられてきました。今度は私が少しでも支えらえるように、頑張ります。

兄弟が多くて大変な中、私を支えてくれてありがとうございました。春から弟は中学生になります。剣道部に入る気満々なので、また遠征が多くなって忙しくなると思います。そこも含めて私が支えられたら良いな、と思います。十八年間本当にありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

社会へ羽ばたく我が子へ

中田　祥浩

祥理、高校卒業おめでとう。振り返れば万感こもごも到るこの三年間、心身ともに成長した祥理の姿に、お父さんもお母さんもとても嬉しく思っています。

子供から大人へと成長する思春期ど真ん中、様々な場面でいくつもの葛藤に悩みながら、悶々として過ごした日々もありましたね。こんな時は親から何を言われても、きっと心には入らないだろうと

思い、お父さんは常に心を向けながらも静観し、見守っていました。そんな中、祥理は自分で心得違いに気付き、反省し、前を向いて進めるようになりましたね。それまで自分ができていなかったことを、周りのせいにして不足に思い、不平不満の日々を過ごしていたことに気付けたことは、本当に大きな心の成長だと思います。おかげで数ヶ月離れていた部活にも復活でき、最後の高校総体まで精一杯やり切れたことは、これからの人生の確かな支えとなることでしょう。

春から社会人になります。二人の兄たちが遠方の大学に通う中、両親の仕事の都合や、弟のことも考え、地元の企業を選び家族と家業を支える道を選んでくれました。「進学したいなら我慢しなくてもいいんだよ」と、何度も勧めたにもかかわらず、現状を考え、兄弟のことを思い、進路を決めてくれたことは本当に嬉しい限りです。四人の兄弟の中、一番のやんちゃ坊主で子供の頃は殊のほか手を焼いた祥理でしたが、今となっては何より頼りになる存在です。社会に出れば、思うようにいかないことも多々あるでしょう。そんな厳しい社会の荒波を、高校時代に先生からいただいた薫陶と、自らの経験を活かして乗り切り、思う存分人生を楽しんでもらいたいと思います。

「親思ふ　心にまさる親心　今日のおとづれ　何と聞くらん」とは吉田松陰の辞世の句。子供が親を思う心以上に、親が子供を思う心は深いという意味です。いくつになっても親から見れば子供は子供。お父さん、お母さんは、いつまでも心の中で祥理のことを応援しています。

十八年間のありがとう

三年五組　田口　晃多

ありがとう。私の高校生活を振り返るとこの言葉が溢れてきます。普段あまり口にしないけれどこの手紙を通して感謝を伝えていきたいと思います。

時の流れは早いもので二〇〇一年に生まれた自分がもう高校を卒業しようとしています。ここまで成長してこられたのは両親の支えがあってこそです。

私は野球部に所属し、日々の練習に打ち込んできました。楽しいことよりも辛いことの方が多かったけれど、最後の夏に校歌を歌えた時は、本当に嬉しかったです。ここまで高校野球を続けてくることができて良かったと思います。そして高校野球は、とても大切なことを教えてくれました。それは「自分自身と向き合う」ということです。自分の都合の悪いことから目を背け、逃げたくなる時期もありました。しかし、そんなことをしていては成長することができません。自分ができなかったことに対して、なぜできなかったのか失敗の原因を振り返り、次どうするべきかを考えることが大切だと思いました。このことは今後の人生に多いに役立つと思います。社会に出れば、成功よりも失敗のほうが多く、挫折しそうな時もあるかもしれませんが、そんな時は失敗から目を背けるのではなく、現実と向き合い、次どうすれば成功できるかを考え、コツコツとがんばっていきます。

私は春から大学生となります。大学四年間で自分自身としっかり向き合い、努力を積み重ね、自身の夢を掴み取れるようにがんばります。まだまだ未熟な私ですが、少しずつ恩返しをしていきます。十八年間育ててくれて本当にありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願いします。

息子への想い

田口　ゆかり

あなたは、二〇〇一年（二十一世紀の始まり）に生まれ、令和初めての卒業式まで後少し、偶然ですが何か節目の時に縁がある学年でしたね。

高校ではクラスでただ一人硬式野球部に所属し、毎日の厳しい練習を一生懸命頑張って来ましたね。辛い事の方が多かったけれど、三年間必死に頑張り通し、無事に引退の日までやり遂げる事が出来ました。最後の夏大会終了後の姿は今でも目に焼き付いています。三年間やり遂げた事は、人生の糧になると思います。

また、あなたの部活動を通して沢山の父母の方々と出会い、一緒に遠征に付いて行ったり沢山お喋りをして、とても楽しい時間を過ごす事が出来ました。あなたに感謝です。

引退してからは、自分の夢を実現する為に勉強を頑張っていました。そして、自分の志望する大学に合格する事が出来ました。ほぼ同時期に娘の結婚式、息子の合格とおめでたい事が続き、家族で喜びました。夢を実現する為には、もっと勉強しなくてはと合格後も頑張って勉強に励んでいますね。

夢の実現に向けた道筋を示して下さり、また常に見守って下さいました濱山先生には、感謝の気持ちでいっぱいです。

あなたは、この三年間で沢山成長する事が出来たと思います。

今までお世話になりました先生方、友人達など、あらゆる方々への感謝の気持ちを忘れる事無く、一歩一歩前に進んで行って下さい。

三年間、良く頑張りました。

「卒業おめでとう」

これからも、あなたの成長を家族みんなで見守っています。

国連平和大使

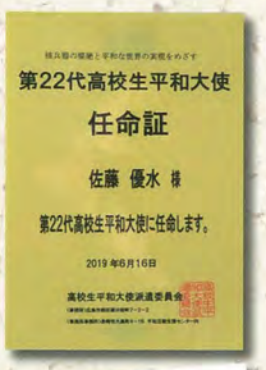
平和大使としての活動“伝え続ける”

佐藤　優水(2-5)

私はこの度スイス派遣を通して、私たちが核兵器廃絶と平和な世界の実現のために活動することは、少しずつではあるけれども、その思いが世界の人々に伝わっているのだと実感することが出来ました。

特にも、核に対して多様な考え方を持っている多くの人達から「平和大使のスピーチを聞いて、心打たれた」と言われた時、私はたくさんの思いを伝え続けることで、人々の考えを変えていくことが出来るのだと思い、平和大使の活動の意味を改めて確認することができました。

これからもたくさんの人が平和について考え、行動を起こしてくれるよう、この活動を頑張っていきたいと思います。



スキー教室

花南 Photo gallery

PTA行事、年間行事、修学旅行 など

ビブリオバトル

▲芸術鑑賞会

校内百人一首大会

修学旅行記

人文自然科学学系

修学旅行を振り返って

二年一組　照井　大介

私達は、十一月二十二日から二十六日の五日間、修学旅行に行きました。

第一日目は清水寺へ行きました。外国人の方々が多くいて、私達が集合写真を撮影するときにそれを外国人が写真に撮っていたので、このようなことは海外では珍しいものなのかなと思いました。

二日目は、奈良県へ行きました。薬師寺で聞くお坊さんの法話は堅苦しいものなのかなと思っていたが、とても面白く周りの人も笑っていました。他にも様々な寺を回り、昔の人の彫刻（仏像等）や建造物の技術の高さにとても驚かされました。

三日目は、班別自主研修でした。行き当たりばったりで予定通りにできるか不安でしたが、班員と協力して何とかほぼ予定通りに終えることができました。特に三十三間堂の千体千手観音像には圧倒されました。

四日目はＵＳＪです。多くのアトラクションやお土産があり、とても楽しい時間を過ごすことができました。

最終日は、大阪城を見学して岩手に帰りました。帰りの新幹線は疲れていて多くの人が寝ていたので、この五日間で旅行を満喫したんだなと思いました。

岩手から約千キロ離れた京都へ。京都は岩手とは全然違い十一月の末でも日中はワイシャツで過ごせるほど暖かくとても過ごしやすかったです。また、京都の街並みは大都会でありながら「古都京都」のイメージを思わせる部分もあり、京都の素晴らしさを感じることができました。

岩手に帰ると、皆が口を揃えて「寒い」と一言。これからまた学校生活が始まると思うと気が重くなりました。しかし、この修学旅行を通し、この先も周りの人達と頑張っていけそうな気がしました。

この五日間の修学旅行での思い出を大切にし、これからの学校生活も楽しく、充実したものにしていきたいです。

スポーツ健康科学学系

修学旅行の思い出

二年四組　八重樫優奈

私達は、十一月二十二日から二十六日の五日間、修学旅行に行きました。

一日目は、清水寺に行きました。清水寺では、舞台から飛び降りるのは、何かを成功させたいときに願をかけて飛び降りると聞き、昔の人は勇気があるなと思い、私もそのくらいの勇気が欲しいと思いました。

二日目は、薬師寺とバレー観戦に行きました。薬師寺では、お坊さんのお話を聞いてきました。最初は面白く、ふざけ話だと思っていましたが、一日一日を大切に「time is life」と言っていて、私には時間が限られていて、今を大切に生きていかないといけないなと感じ、とても良いお話を聞けて良かったです。バレー観戦では、普段見られないプロの方々の祭後まで諦めない、粘り強さのある試合を見ることができ良い思い出になりました。

三日目は、班別自主研修をしました。私の班は、岩手と京都の「食」の違いについて回りました。抹茶ソフトは岩手と濃さが全く違い、濃厚でお茶感が強く、とても美味しかったです。食べ物以外にも、伏見稲荷大社に行きました。紅葉がとてもきれいで、千本鳥居もくぐってのお参れも楽しかったです。

四日目は、北野天満宮とＵＳＪに行きました。北野天満宮では、赤い目の牛を触ってきました。自分の体の悪い場所と赤い目の牛の同じ所をなでるとそこが治ると聞いたので私も触ってきました。ＵＳＪでは、色々なアトラクションに乗ってストレス解消になり良い気分転換になりました。

五日目は、大阪城にとても迫力がありました。また、外国人観光客も沢山いました。

この修学旅行で改めて、人と関わることの大切さを感じました。色々な建造物や文化に触れて岩手との違いを感じたり、外国人と話したり写真を撮って、日本人だけでなく外国人とも交流をしていきたいと思いました。修学旅行が終わり、次は入試だと思います。色々なことを感じ、今自分に足りないことは何か考え、残りの高校生活を楽しむことはもちろん、辛いこと、挑戦することから逃げずに生活していきたいです。

国際科学学系

『修学旅行の準備』

一班　佐々木優真

修学旅行の前日、持ち物の整理を始め、足りない物や必要のない物を友達と通話しながら、明日に向けてワクワクしていた。前日にも関わらず、スーツケースに収まりきらない物が沢山出てきた。妥協したくなかったので、無理やり詰め込んだ。しかし、お陰で現地では役に立つ物が沢山あり、困ることなく最高で快適な修学旅行にすることができた。

『パイナップルケーキ作り』

二班　班員一同

現地の高校生とパイナップルケーキを作りました。生地と餡はできていて、それを包んで型に入れる作業だけやりました。現地のほとんどの高校生はテンションが高くて、すごくフレンドリーでした。お互いの国語が分からなかったので、翻訳アプリを使ったりして、交流しました。ラインやインスタを交換したりもして、すごく仲良くなれました。

『充実した移動時間』

三班　八重樫環那

行きは飛行機が遅延してどうなることかと思っていたけど無事台湾に到着することができました。機内食はとても美味しかったし、窓からの景色が最高でした。バス移動の時は、陳さんが沢山豆知識を教えてくれて、すごく充実していました。移動に時間は結構長かったけど、友達といつも以上に話せたり、見るもの全てが綺麗で、とても楽しい時間になりました。

『BSプログラム』

四班　鼻和　杏莉

私たち四班は、台北市内を研修しました。台北１０１などの有名なスーパーや、デパート、化粧品専門店など沢山回った後、美術館に行きました。他の国で起きた事件をテーマに、被害者が実際に書いた日記や、現場をそのまま再現したものなど胸が痛くなるような作品があり、私たちにとってとても印象に残る一日でした。

『市内観光』

五班　鎌田　美保

二日目の市内観光では、龍山寺、中正記念堂、シーソンの夜市へ行きました。龍山寺には沢山の神様が入っていて、日本のお寺とは全く違い、入り口に滝があったりしました。中正記念堂は八十九段の階段を上がっていくのですが、段数が多くきつかったです。夜市では、面白そうな輪投げなどのゲームがあり、台湾の雰囲気を感じることができました。

『小籠包作り』

六班　髙橋　咲

二日目、私たちは小籠包作り体験をした。お店の方に教えてもらいながら作ってみるものの想像以上に難しく、うまく作れない人が多かった。お店の方が作る小籠包は皮はもちもちしていて、中から肉汁があふれ出していて、とても美味しかった。私たち自身で作る小籠包も美味しかったが、お店の方が作るものとは比べものにならなかった。

『自主研修』

七班　佐藤　優水

私たちの班は淡水と西門町に行きました。淡水では紅毛城という台湾がスペインに統治されていた時代の城を見ました。西洋の国に統治された時代の台湾の歴史を学ぶことができました。淡水老街ではカステラやえび巻など淡水名物を楽しみました。午後からは西門町で買い物をしました。現地の大学生と楽しい自主研修を送ることができました。

『虫よけバーム』

八班　坂井日向莉

私たちは、交流校にて虫よけバームを同年代の人達と一緒に作りました。中国語が分からないので、英語だけの会話でしたが、向こうの高校生たちが積極的に話しかけてくれました。英語やスマホの翻訳アプリを使い、作業過程を教えてくれました。現地の高校生は明るく元気で、すぐにお互いの距離を縮めることができました。

令和元年度進路決定状況

2020/2/20現在

進路決定概数（全体）

※就職進学は進学者数に入る

→ 進路指導部

分類	国公立男	国公立女	私立男	私立女	公立短男	公立短女	私立短男	私立短女	医男	医女	専門男	専門女	文省外男	文省外女	浪人男	浪人女	就職男	就職女	公務男	公務女	その他男	その他女	留学男	留学女	
就職管内																	1	6							
就職管外																	5	8							
就職県外																	1	2							
推薦		7	16	15		4		7	3	13	1	9	4	2											在籍者計
一般			1	2			1	1	4	4	14	8		1											196
ＡＯ	1		4	11						2	2	13													決定者計
計	1	7	21	28		4	1	8	7	19	17	30	4	3			7	16							173
合計	8		49		4		9		26		47		7				23								88.3%

進路決定概数（人文科学学系）

分類	国公立男	国公立女	私立男	私立女	公立短男	公立短女	私立短男	私立短女	医男	医女	専門男	専門女	文省外男	文省外女	浪人男	浪人女	就職男	就職女	公務男	公務女	その他男	その他女	留学男	留学女	
就職管内																		4							
就職管外																	1	2							
就職県外																									
推薦		3	7	4		2		4	1	5		6		1											在籍者計
一般			1	1			1	1	1		4														73
ＡＯ			2	5							1	5													決定者計
計		3	10	10		2	1	5	2	5	5	11		1			1	6							62
合計	3		10		2		6		7		16		1				7								84.9%

進路決定概数（自然科学学系）

分類	国公立男	国公立女	私立男	私立女	公立短男	公立短女	私立短男	私立短女	医男	医女	専門男	専門女	文省外男	文省外女	浪人男	浪人女	就職男	就職女	公務男	公務女	その他男	その他女	留学男	留学女	
就職管内																		1							
就職管外																									
就職県外																									
推薦		4	2	3		1			2	6			3												在籍者計
一般				1					1	3	2	4													46
ＡＯ	1		1	3						1															決定者計
計	1	4	3	7		1			3	10	2	4	3					1							39
合計	5		10		1				13		6		3				1								84.8%

進路決定概数（スポーツ健康科学学系）

分類	国公立男	国公立女	私立男	私立女	公立短男	公立短女	私立短男	私立短女	医男	医女	専門男	専門女	文省外男	文省外女	浪人男	浪人女	就職男	就職女	公務男	公務女	その他男	その他女	留学男	留学女	
就職管内																	1								
就職管外																	4	4							
就職県外																	1	1							
推薦			2	3		1		1		2	1	1	1												在籍者計
一般									1		7	2													37
ＡＯ				2																					決定者計
計			2	5		1		1	1	2	8	3	1				6	5							35
合計			7		1		1		3		11		1				11								94.6%

進路決定概数（国際科学学系）

分類	国公立男	国公立女	私立男	私立女	公立短男	公立短女	私立短男	私立短女	医男	医女	専門男	専門女	文省外男	文省外女	浪人男	浪人女	就職男	就職女	公務男	公務女	その他男	その他女	留学男	留学女	
就職管内																		1							
就職管外																		2							
就職県外																		1							
推薦			5	5				2				2		1											在籍者計
一般									1	1	1	2													40
ＡＯ			1	1						1	1	8													決定者計
計			6	6				2	1	2	2	12		1				4							36
合計			12				2		3		14		1				4								90.0%

進学先（アイウエオ順）

国公立大学	決定（男／女）	
北海道教育大/函館校（国際地域）		1
岩手大（人文社会）		1
岩手大（教育）		1
弘前大（理工）	1	
岩手県立大（社会福祉）		1
岩手県立大（総合政策）		1
岩手県立大（看護）		2
	1	7
計	8	

私立大学	決定（男／女）	
岩手医科大		2
岩手保健医療大		2
盛岡大	1	5
富士大	2	2
東北学院大	5	3
東北福祉大		2
尚絅学院大		1
仙台大	1	1
青森大	1	
亜細亜大		1
札幌学院大	1	
東洋大	1	
神田外語大		1
群馬パース大		1
仙台白百合大		1
東北芸術工科大	1	
東北工業大	1	
東北公益文科大	1	
東北文化学園大	2	1
日本女子体育大		1
日本大	1	1
関東学院大	2	1
文化学園大		1
子ども教育宝仙大		1
八戸学院大		1
	20	29
計	49	

国公立短大	決定（男／女）	
岩手県立大宮古短期大学部（経営情報）		1
岩手県立大盛岡短期大学部（生活デザイン）		1
山形県立米沢女子短大（英語英文）		1
山形県立米沢女子短大（国語国文学）		1
	0	4
計	4	

私立短大	決定（男／女）	
盛岡大学短期大学部（幼児教育）		4
修紅短大（幼児教育）		1
仙台青葉学院短大（観光ビジネス）		2
ヤマザキ動物看護専門職短期大学		1
東京交通短期大	1	
	1	8
計	9	

医療系専門学校	決定（男／女）	
花巻高等看護専門学校	1	7
亀田医療技術専門学校		1
岩手リハビリテーション学院（理学）	1	2
岩手リハビリテーション学院（作業）	3	
仙台医療センター附属仙台看護助産学校		1
国際医療福祉専門学校（救急救命）	2	
MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校（歯科衛生）		1
新東京歯科衛生士学校		1
仙台保健福祉専門学校		1
仙台リハビリテーション専門学校		1
専門学校日本聴能言語福祉学院		1
東武医学技術専門学校		1
岩手県立一関高等看護学校		1
北部看護学校		1
	7	19
計	26	

専門学校、その他	決定（男／女）	
盛岡公務員法律専門学校	1	2
北海道ハイテクノロジー専門学校		1
盛岡医療福祉スポーツ専門学校		1
盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校	1	
上野法律ビジネス専門学校	3	
大原スポーツ公務員専門学校	2	
菜園調理師専門学校	1	
北日本医療福祉専門学校	1	1
岩手理美容専門学校		1
大原簿記情報ビジネス専門学校		1
専修大北上福祉教育専門学校	1	4
宮城調理製菓専門学校	1	
北日本ヘアスタイリストカレッジ		1
仙台ECO動物海洋専門学校		1
仙台ウエディング＆ブライダル専門学校		1
仙台こども専門学校		2
学校法人菅原学園	1	
仙台ビューティーアート専門学校		1
横浜ファッションデザイン専門学校		1
日本外国語専門学校		2
駿台外語＆ビジネス専門学校韓国語学科		1
真野美容専門学校	1	
総合学園　ヒューマンアカデミー	1	
ホスピタリティツーリズム専門学校		1
北日本ハイテクニカルクッキング専門学校		2
国際マルチビジネス専門学校	1	
東京IT会計専門学校仙台校	1	
東京デザイン専門学校		1
東京山手調理師専門学校		1
日本工学院専門学校	3	
武蔵野調理師専門学校		1
	19	27
計	46	

文科省管轄外学校	決定（男／女）	
岩手県産業技術短期大学校	4	1
MCL盛岡看護医療大学校		1
	4	2
計	6	

留　学	決定（男／女）	
計		

就職先（順不同）（非正規、縁故就職は除く）

事業所名（管内）	地　域	職　種	決定（男／女）	
花巻農協協同組合	花　巻	総合職		1
SWS東日本大迫工場	花　巻	製　造		1
イーエヌ大塚製薬	花　巻	製　造		1
高清物産	花　巻	サービス		1
サンクスジャパン	花　巻	サービス		1
TSD	花　巻	製　造		1
愛吹美装	花　巻	建　築	1	
			1	6
		計	7	

公務員・公社・法人	地　域	職　種	決定（男／女）	
		計		

事業所名（管外）	地　域	職　種	決定（男／女）	
薄衣電解工業	北　上	事　務		1
キオクシア	北　上	技　能	3	
ヤマトフードサービス北上工場	北　上	製　造		1
ツガワ北上工場	北　上	製　造	2	
アメリカ屋	北　上	販　売		1
ファイブフォックス	盛　岡	販　売		1
小川歯科医院	盛　岡	サービス		1
TDK秋田北上工場	北　上	製　造		2
東北KAT	北　上	製　造		1
			5	8
		計	13	

事業所名（県外）	地　域	職　種	決定（男／女）	
サンデリカ仙台第二事業者	仙　台	製　造		1
ニプロ	東　京	製　造		1
シグマロジスティックス	東　京	物流サービス	1	
			1	2
		計	3	

９割近くの生徒が大学・短大・専門学校への進学を希望し、公務員・民間への就職にも対応する進路多様校です。

進学において、推薦入試では、国公立大学から専門学校まで95名、AO入試で46名の生徒が受験に挑みました。結果は以下のとおりであり、良い結果を残すことができました。中でも、国公立大学の推薦・AO受験では17名が挑み、８名が合格。国公立大学の推薦合格率は58％でした。また、今年度の医療看護系の学校を希望する生徒の推薦受験合格率は68％でした。

４年生大学や医療・看護系専門学校を希望する生徒は例年多く、多くの生徒が受験生として頑張っています。平常課外や夏季・冬季課外を企画し、先生方による指導を行っています。

民間就職希望者は23名であり、全員が内定しております。面接練習に熱心に臨むなど取り組みは立派でした。これから社会人として、それぞれの職場での活躍を期待しています。

令和元年度 各種表彰等代表者

(1) 予行日各種表彰

◎皆勤賞
代表　田村玲楓（3－3）

◎精勤賞
代表　沖山健就（3－2）

◎全国高校長協会体育部会長・体育科連絡協議会長表彰
野崎有咲（3－4）
福岡　愛（3－4）

◎体育賞・文化賞・特別賞代表
体育賞　照井梓月（3－1）
野崎有咲（3－4）
文化賞　中道はるか（3－5）
高橋菜々佳（3－1）
及川ひより（3－2）

◎明知賞
代表　田口晃多（3－5）
高橋愛海（3－1）
伊藤　楓（3－3）

(2) 予行日同窓会入会式

◎第67回同窓生代表理事
菅野朋樹（3－2）

✲皆勤賞

3年1組
阿部澄希　安藤璃南
佐藤瑠美　髙橋倫香
千田拓未　照井梓月

3年2組
及川莉里叶　髙橋彩乃

3年3組
川村結衣　小関美彩
髙野橋佳吾　髙橋実来
多田千優　田村玲楓
西舘郁弥　藤原知佳

3年4組
於本萌吹　佐藤美沙紀
藤沼さやか　渡辺隆正

3年5組
伊藤志乃　菅野彩果
髙橋広夢

✲精勤賞

3年1組
石川昂佑　加村紗也夏

3年2組
上山聖矢　沖山健就
鎌田菜々子　菊池京花
宮野　紗

3年3組
伊藤奈保　梅木脩成
加藤翔太　佐々木熙
髙橋大翔　多田純玲

3年4組
浅沼茉里奈　菊池恒至

3年5組
佐々木千穂　田口晃多
千葉翔太　福盛田まな美

部活動報告

12月以降

【運動部】

◎バスケット部（男子）
【新人戦県大会】
1回戦　63―55　大東・千厩
2回戦　80―70　高田
3回戦　58―120　盛岡市立
ベスト8

◎バスケット部（女子）
【新人戦県大会】
1回戦　56―49　不来方
2回戦　66―48　久慈東
3回戦　48―73　盛岡三
ベスト16

◎バレーボール部
【第67回岩手県高等学校新人バレーボール大会】
1回戦　2―0　花巻北
2回戦　2―0　盛岡三
準々決勝　1―2　盛岡誠桜
ベスト8
優秀選手　高田　帆南

◎ソフトテニス部（男子）
【県選抜室内ソフトテニス大会】
個人戦（髙橋大・藤井颯大ペア）
1回戦　対水沢高校
0―4　敗退
団体戦　ベスト8
1回戦　対盛岡商業高校
3―0勝ち
2回戦　対黒沢尻工業高校
0―2敗退

◎ソフトテニス部（女子）
【岩手県高校選抜インドアソフトテニス大会】
個人戦
喜多山瑠々・赤坂　玲奈
熊谷　華・武田　夢花
ベスト8
団体戦
1回戦　2―1　岩手女子
準々決勝　1―2　盛岡誠桜
ベスト16

◎ハンドボール部（男子）
【第43回全国高等学校ハンドボール選抜大会岩手県予選会】
第1代表戦1回戦
本校9―32不来方
第2代表戦2回戦
本校30―21盛岡中央
同3回戦
本校22―24盛岡一　第4位

◎ハンドボール部（女子）
【第43回全国高等学校ハンドボール選抜大会】
第2代表戦1回戦
盛岡第二20―18花巻南高校
高校総体シード決定戦
花巻南38―13盛岡第四　第7位

◎弓道部（男子）
【新人大会】
団体戦　予選敗退

◎弓道部（女子）
【新人大会】
団体戦　予選敗退
個人戦　予選敗退

◎卓球（男子）
【県選抜大会】
団体戦　8位／15校中

【文化部】

◎演劇部
【自主公演】
2／1「ともことサマーキャンプ」
（畑澤聖悟・作※既成）
【外部スタッフ参加】
1／26　FerioBrass 第2回演奏会
（花巻市文化会館）
照明担当（平愛結花・佐藤　穂佳）

◎囲碁将棋部
●囲碁
【岩手県高等学校文化連盟囲碁新人大会】
E2リーグ
第1位　谷　藤　直　希
●将棋
【岩手県高等学校文化連盟囲碁新人大会】
女子個人
第2位　小　原　杏　菜
（東北大会・全国大会出場）
【東北地区高等学校将棋大会】
女子個人
第2位　小　原　杏　菜
【将棋順位戦】
C級
第3位　鎌　田　柊　羽
第4位　谷　藤　直　希

入学式

PTA入会式

花南祭

環境美化活動

合格発表

一声運動

広報編集委員

委員長　山田道宏
三学年　安部由美
二学年　沖深雪
一学年　畠山智美

小諏訪宏文
畠山由香里
川原裕美
上山香里

編集後記

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。勉強に励み、クラブ活動に全力で取り組み、学校生活を楽しみ、あっという間の三年間だったと思います。

ＰＴＡ会員の皆様には、様々な活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございました。広報発行にご協力頂きましたＰＴＡの皆様、先生方、広報部員の皆様に改めて感謝を申し上げます。

今年度ＰＴＡ会報最終号は、ＰＴＡ会長、校長先生、各役員の方から今年度を振り返って頂きました。親と子の想いを特集で取り上げております。高校生平和大使に選ばれた佐藤優水さんの活動の様子、学校行事、修学旅行、進路状況、各種表彰等代表者、部活動報告を掲載いたしましたのでご覧頂きたいと思います。今までのＰＴＡ会報を大切な記録と思い出として残して頂ければ幸いです。

三年生の皆さん、これからの人生に於いて南高校での経験を活かして、自分らしく可能性を遺憾なく発揮して、社会に貢献出来る人になって下さい。ご活躍を期待しています。

進級する一・二年生の皆さんは、残りの高校生活を、心をしっかり整えて、自己啓発を高めつつ楽しんで行きましょう！

ＰＴＡ広報編集委員長
山田道宏